

学科・専攻の概要

1. 教育計画

学期（二期制）	登校日数・長期休み
<ul style="list-style-type: none"> ・前期：4月1日～9月30日 ・後期：10月1日～3月31日 	登校日数：200日 夏期：8月1日～9月1日 冬期：12月21日～1月7日 学期末：2月29日～3月22日
成績評価の基準	進級・卒業要件
試験結果など元にして、次のように評価する <ul style="list-style-type: none"> ・90点～100点 秀（※2018年度入学生から） ・80点～89点 優 ・70点～79点 良 ・60点～69点 可 ・59点～0点 不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該年次の所定の科目が認定され、かつ、当該年次の規定出席日数を満たしていること。

2. 取得実績のある資格

団体	資格名
経済産業省	ネットワークスペシャリスト データベーススペシャリスト 情報処理安全確保支援士（※旧 情報セキュリティスペシャリスト） 応用情報技術者試験 基本情報技術者試験 ITパスポート試験 情報セキュリティマネジメント
専修学校教育振興会	情報検定（J検定） ビジネス能力検定（B検定）
画像情報教育振興協会	CGクリエイター試験 CGエンジニア試験 マルチメディア検定試験
CompTIA	CompTIA 認定試験（Network+、A+）
オラクル	オラクルマスター試験 Java プログラマ試験
SEA/J	SEA/J 情報セキュリティ技術認定試験
マイクロソフト	オフィス・スペシャリスト
日本医療情報学会	医療情報技師能力検定 医療情報基礎知識検定試験
日本医療教育財団	医療事務技能審査試験 医師事務作業補助技能認定 医事オペレータ技能認定
日本商工会議所	簿記検定試験、販売士検定試験
東京商工会議所	ビジネス実務法務検定試験
実務能力検定協会	秘書検定試験
	高等学校教諭一種免許状「情報」「商業」「数学」

3. 学科・専攻とカリキュラム

①大学併修科

学科の目的 特徴		各種の情報処理技術を駆使し、データを分析・加工して経営に反映できる能力を持つ高度情報処理技術者を育成します。また、経営部門に対して情報技術を活用した戦略的な提案をおこない、経営戦略システムを構築していく技術も合わせて習得します。北海道情報大学通信教育部にも同時に在籍し、経営情報学の学士号を取得できます。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
4年(昼)	120名	-		平成17年文部科学大臣告示170号	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3,900時間		2,510時間	435時間	955時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、ITストラテジとマネジメント、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、アルゴリズム、ネットワークとセキュリティ、システム開発の基礎、JAVA、データベース、ビジネスソフト、デザイン理論、ゲームプランニング、デザイン実践、医学・医療、臨床医学等		
		2年	ヒューマンインタフェース、ネットワーク応用、セキュリティ応用、ERPシステム、オラクルSQL、オラクルDBA、Linux、ゲームプログラミング、アニメーション技法、医療情報基礎、病院情報システム、医療ネットワーク、電子カルテシステム等		
		3年	プロジェクト管理、テクニカルライティング、オブジェクト指向開発、システムデザイン、JAVA応用、PHP入門、会計基礎、e-ビジネス総論、アントレプレナーシップ論、就職対策等		
		4年	問題解決技法、企画と提案、テストと導入・移行、ビジネススキル、JAVA実践、Python入門、就職対策、卒業研究等		
目標資格		情報処理安全確保支援士(※旧 情報セキュリティスペシャリスト)、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、オラクルマスター、オラクル認定 Java プログラマ、マイクロソフトオフィススペシャリスト、CompTIA 認定資格、情報検定(J検)、マルチメディア検定、医療情報技師能力検定、医療情報基礎知識検定、高等学校教諭一種免許状「情報」「商業」「数学」など			

②情報マルチメディア専門科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>情報システムの分析から設計・開発・試験・運用に至る一連のライフサイクルに 関与できるシステムエンジニアを育成します。また、ユーザとの折衝等において 中心的役割を担うプロジェクトリーダ的な要素も併せて習得します。 ゲーム・CG分野においては、マルチメディアコンテンツ制作を企画段階から担 当し、画像・音声・映像など各部門の担当者に的確に指示できる力を持つマルチ メディア技術者を育成します。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>3年(昼)</p>	<p>120名</p>	<p>平成17年文部科学大臣告示32号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>3,360時間</p>		<p>1,965時間</p>	<p>525時間</p>	<p>870時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、ITストラテジとマネジメント、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、アルゴリズム、ネットワークとセキュリティ、システム開発基礎、データベース基礎・応用、JAVA、ビジネスソフト活用、SEA/J基礎、デザイン理論、デザイン実践、ゲームプランニング等</p>		
		<p>2年</p>	<p>セキュリティ応用、ネットワーク応用、ヒューマンインタフェース、JAVA、オブジェクト指向プログラミング、Linux、オラクルSQL、オラクルDBA、AIの活用と開発技術、Webアプリケーション、マルチメディア演習、アニメーション技法、ゲームプログラミング、ゲームビジネス、就職対策等</p>		
		<p>3年</p>	<p>プロジェクト管理、JAVA応用、テクニカルライティング、ヒューマンスキル、実践システム開発演習、Python、ゲームプログラミング、ゲーム構築、就職対策、卒業研究等</p>		
<p>目標資格</p>		<p>情報処理安全確保支援士(※旧 情報セキュリティスペシャリスト)、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、オラクルマスター、オラクル認定 Java プログラマ、SEA/J認定資格、マイクロソフトオフィススペシャリスト、CompTIA 認定資格、情報検定(J 検)、マルチメディア検定、CGエンジニア検定、CGクリエイター検定 など</p>			

③医療情報学科

学科の目的 特徴		医療機関における病院情報システムの導入・保守などをおこなう医療情報技師や医療機関向けのシステム開発をおこなう医療系システムエンジニアを育成します。「医学・医療」「医療情報システム」「情報処理技術」の3分野の知識と技術を習得するとともに、コミュニケーション能力の高い医療情報技術者を育成します。			
修業年限	総定員数	専門士		高度専門士	
3年(昼)	60名	平成22年文部科学大臣告示152号		-	
卒業に必要な 総授業時間数		講義科目	演習科目	実習科目	
3,360時間		2,040時間	585時間	735時間	
実施科目 (抜粋)		1年	ITの職業と情報倫理、ITストラテジとマネジメント、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、アルゴリズム、ネットワークとセキュリティ、システム開発の基礎、JAVA、データベース応用、ビジネスソフト活用、医療事務、臨床医学、医学・医療 解剖生理学 等		
		2年	病院情報システム、医療ネットワーク、電子カルテシステム、医療情報基礎、Linux、JAVA、セキュリティ応用、ヒューマンインタフェース、AIの活用と開発技術、Webアプリケーション構築、オブジェクト指向プログラミング、就職対策 等		
		3年	プロジェクト管理、JAVA応用、テクニカルライティング、ヒューマンスキル、Python、オブジェクト指向設計、JavaScript、就職対策、卒業研究		
目標資格		情報処理安全確保支援士(※旧 情報セキュリティスペシャリスト)、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、医療情報技師能力検定、医療情報基礎知識検定、医療事務技能審査、オラクル認定 Java プログラマ、マイクロソフトオフィススペシャリスト、CompTIA 認定資格、情報検定(J検) など			

④情報マルチメディア科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>情報システムの設計・開発・試験において中心的な役割を担う初級システムエンジニア・プログラマーを育成します。また、エンドユーザ部門においては、情報化のリーダとして指導・育成を担うアドミニストレータとして活躍できます。 ゲーム・CG分野においては、マルチメディアコンテンツ制作に必要な各デジタル素材の特性を理解し、その加工・編集の技術を持つマルチメディア技術者を育成します。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>2年(昼)</p>	<p>70名</p>	<p>平成16年文部科学大臣告示23号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>2,220時間</p>		<p>1,350時間</p>	<p>315時間</p>	<p>555時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、ITストラテジとマネジメント、基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データ構造とプログラミング、アルゴリズム、ネットワークとセキュリティ、システム開発の基礎、JAVA、データベースの基礎、ビジネスソフト活用、データベース応用、SEA/J基礎、デザイン理論、デザイン実践、ゲームプランニング、C言語、就職対策 等</p>		
		<p>2年</p>	<p>セキュリティ応用、ヒューマンインタフェース、JAVA、オブジェクト指向プログラミング、Linux、オラクルSQL、オラクルDBA、AIの活用と開発技術、Webアプリケーション構築、マルチメディア技術、アニメーション技法、ゲームプログラミング、ゲームアルゴリズム、就職対策、卒業研究 等</p>		
<p>目標資格</p>		<p>応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、オラクルマスター、SEA/J認定資格、マイクロソフトオフィススペシャリスト、CompTIA 認定資格、情報検定(J検)、マルチメディア検定、CGエンジニア検定、CGクリエイター検定 など</p>			

⑤ビジネスパソコン科

<p>学科の目的 特徴</p>		<p>ビジネス専攻では、企業活動において、パソコンやビジネスソフトの活用技術を持つオフィス事務職やエンドユーザコンピューティング（EUC）のための基礎知識を持ち情報化の責任者となるシステムアドミニストレータを育成します。 医療専攻では、病院などの医療機関において、事務部門や受付部門で必要なビジネスマナーや診療報酬請求事務知識を習得した医療事務スタッフを育成します。</p>			
<p>修業年限</p>	<p>総定員数</p>	<p>専門士</p>		<p>高度専門士</p>	
<p>2年(昼)</p>	<p>60名</p>	<p>平成14年文部科学大臣告示19号</p>		<p>-</p>	
<p>卒業に必要な 総授業時間数</p>		<p>講義科目</p>	<p>演習科目</p>	<p>実習科目</p>	
<p>2,220時間</p>		<p>1,065時間</p>	<p>480時間</p>	<p>675時間</p>	
<p>実施科目 (抜粋)</p>		<p>1年</p>	<p>ITの職業と情報倫理、ITストラテジとマネジメント、デジタル社会の法制度、ビジネス実務概論、情報基礎、Word実習、Excel実習、PowerPoint実習、簿記会計、ヒューマンスキル、ビジネスマナーと文書技法、販売実務、ビジネス秘書概論、医療事務、医事オペレータ、就職対策 等</p>		
		<p>2年</p>	<p>コミュニケーションスキル、プレゼンテーション演習、Webデザイン実習、セキュリティ応用、ビジネス情報管理、ビジネス実務法務、デザインワーク、ビジネス秘書概論、医療情報基礎、医師事務作業補助、就職対策、卒業研究 等</p>		
<p>目標資格</p>		<p>基本情報技術者、ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、ビジネス能力検定、日商簿記検定、日商販売士検定、ビジネス実務法務検定試験、秘書検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト[Word][Excel][PowerPoint][Access]、CompTIA認定資格、情報検定(J検)、医療情報基礎知識検定、医療事務技能審査、医事オペレータ技能認定、医師事務作業補助技能認定 など</p>			

4. 就職率、卒業後の進路

就職率	100%	※2019年3月卒業生実績
主な就職先	<p>(株)IIJエンジニアリング、アイ・ティー・エックス(株)、旭情報サービス(株)、(株)アドバンストラフィックスシステムズ、eBASE-PLUS(株)、(株)インフォメーションクリエイティブ、(株)ヴィンクス、宇宙技術開発(株)、(株)エイジェック、(株)エイチ・エル・シー、(株)ATTS、(株)SCC、大分交通(株)、大分シーイーシー(株)、大分中央電算(株)、(株)オーガス、オーガスアリーナ(株)、(株)オーディーシー、(株)コア・クリエイイトシステム、(株)サンウエル、(株)シーエイシー、(株)ジーエークレアス、CTBメディア(株)、シスメックスCNA(株)、(株)ジョイフル、真央クリニック、せぐち歯科医院、セントラルソフト(株)、ソイテックスジャパン(株)、(株)ソフトサービス、(株)ダイキエンジニアリング、大和冷機工業(株)、TISソリューションリンク(株)、(株)DMM.com OVERRIDE、(株)TBC、(株)テクノクリエイティブ、(株)テクノプロ・エンジニアリング、東洋ワーク(株)、トッパン・フォームズ・オペレーション(株)、(株)トラスト・テック、(株)ニシケン、ニチイ学館、日研トータルソーシング(株)、ニッポンレンタカー九州(株)、日本自動化開発(株)、日本データスキル(株)、(株)日本ビジネスエンジニアリング、別府温泉病院、(株)ユニバーサルコムコンピューターシステム、(株)ユビキタステクノロジー、(株)竜巧社ネットウェア など</p>	